

“桜”をはじめ“花”を描いた作品を特集展示。
皇居・千鳥ヶ淵の桜との競演も見どころ、春らしいオリジナルグッズも。

「美術館の春まつり」

東京国立近代美術館は皇居や千鳥ヶ淵、北の丸公園といった桜の名所エリアに立地しており、散策で巡るにも絶好のロケーションにあることから、桜の開花にあわせて様々な催しを開催します。題して「美術館の春まつり」。

展覧会では、桜が描かれた重要文化財《行く春》を年に一度この時期だけ公開するほか、花を描いた作品が会場の一室に並ぶのが見どころです。そのほか日本画、洋画、海外作品など、選りすぐりの約 200 点を 3 フロアにわたってご覧いただけます。

対話による鑑賞プログラムや、お花見弁当などの飲食販売、春らしいオリジナルグッズを取り扱うポップアップショップ、さらには 4 月 5 日の無料観覧日に開催する特別企画「春まつりトークラリー」など、楽しい企画も盛りだくさんです。

期間と会場

■期間: 2020 年 3 月 17 日(火) - 4 月 5 日(日)

※4 月 5 日は所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」の無料観覧日

■会場: 東京国立近代美術館

展覧会

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」(2 月 11 日 - 6 月 14 日、4-2F 所蔵品ギャラリー) ※花の作品の特集は 4 月 12 日まで

今期は、年に一度この時期だけに公開する桜を描いた重要文化財、川合玉堂《行く春》と、奈良吉野の桜を描いた菊池芳文《小雨ふる吉野》が、2 年ぶりに同じ部屋に並びます。ほかにも、しだれ桜ほか 40 種類を超える希少な桜を描いた跡見玉枝《桜花図巻》、安田靉彦《木花之佐久夜毘売》、船田玉樹《花の夕》、松林桂月《春宵花影図》などの花が描かれた名画 8 点が並び様は必見です。千鳥ヶ淵や美術館周辺の桜との競演をお楽しみください。

明治から現代まで 100 年を超える日本美術の流れがご覧いただける所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を展示します。小林古径、菱田春草などの日本画、安井曾太郎などの洋画、ポール・セザンヌ、パウル・クレーなどの海外作品も並び、会場内各所に点在する、花を描いた作品を探しながらの鑑賞もおすすめです。



川合玉堂《行く春》1916 年 重要文化財 01:左隻 02:右隻 03:連結



船田玉樹《花の夕》1938 年 04

○「ピーター・ドイグ展」(2 月 26 日 - 6 月 14 日、1F 企画展ギャラリー)

○コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」(2 月 11 日 - 6 月 14 日、2F ギャラリー4)

様々な催し

○まるで作品の謎解きをするような鑑賞体験: 対話による鑑賞プログラム、所蔵品ガイドを毎日 14 時から開催するほか、4 月 5 日の無料観覧日には年に一度の特別企画「春まつりトークラリー」を開催します。

また、英語による鑑賞・異文化交流プログラム「Let's Talk Art!」を毎週金曜夜に開催します。

○お休み処で飲食を: 前庭に床几台によるお休み処をご用意。レストラン「ラー・エ・ミクニ」のキッチンカーによるお花見弁当や甘酒しるこ、スパークリングワインなどの飲食販売を行います。

○春らしいオリジナルグッズ: エントランスにポップアップショップが出現。新商品を含むオリジナルグッズを販売します。



05



06



07



08

詳細

■ 展覧会開催概要

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」(2月11日(火・祝)–6月14日(日)、4-2F 所蔵品ギャラリー)

観覧料: 一般 500 円、大学生 250 円 (金曜・土曜の 17 時以降は一般 300 円、大学生 150 円)

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1 名)は無料

※所蔵作品展入館当日に限り、コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」もご覧いただけます。



菊池芳文《小雨ふる吉野》1914 年



09: 左隻 10: 右隻



跡見玉枝《桜花図巻》(部分) 1934 年

11

○「ピーター・ドイグ展」(2月26日(水)–6月14日(日)、1F 企画展ギャラリー)

現代アートのフロントランナーとして世界的な活躍を続けるピーター・ドイグ(1959-)の、待望の日本初個展です。

観覧料: 一般 1,700 円、大学生 1,100 円、高校生 600 円 ※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料

※「ピーター・ドイグ展」入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」もご覧いただけます。

○コレクションによる小企画「北脇昇 一粒の種に宇宙を視る」(2月11日(火・祝)–6月14日(日)、2F ギャラリー4)

身近な植物などから想像力をふくらませて独自の幻想的な絵を描いた前衛画家、北脇昇(1901–1951)の特集です。

観覧料: 所蔵作品展「MOMAT コレクション」の観覧料でご覧いただけます。

■ 鑑賞プログラム

○春まつりトークラリー

4月5日(日)の無料観覧日に開催する特別企画。

ガイドスタッフが 20 以上の作品の前で皆さんをお迎えします。

鑑賞を楽しみながら作品を巡り、スタンプ 3 つ以上で特製カンバッジをプレゼント。

日本語/英語で実施、12 時–15 時、先着 2,000 名様



12

○所蔵品ガイド

作品解説を聞く一方向的なものではなく、ガイドスタッフと参加者の皆さまが対話しながら、まるで作品の謎解きをするような鑑賞体験ができると評判のガイドプログラム。毎日 14 時から開催。無料(観覧料別)でどなたでも参加できます。

日本語で実施のプログラムです。

○英語による鑑賞・異文化交流プログラム「Let's Talk Art！」

参加者がファシリテーターと英語で対話をしながら、作品の鑑賞と文化交流を楽しむプログラム。訪日外国人の方にもおすすめです。

毎週金曜 18 時半から約 1 時間、3 作品を鑑賞。事前申込み制、参加費 1,000 円(観覧料別)

詳細は右記当館 WEB 内ページをご確認ください(英語)→ <https://www.momat.go.jp/english/am/learn/lets-talk-art/>

■ まつりを彩る飲食やグッズ

前庭に床几台によるお休み処をご用意。レストラン「ラー・エ・ミクニ」のキッチンカーによるお花見弁当や甘酒しるこ、スパークリングワインなどの飲食販売を予定しています。

ミュージアムショップがエントランスにポップアップショップをオープン。新商品を含む春らしいオリジナルグッズが並びます。

また、千鳥ヶ淵の桜の枝で染色した桜染めスカーフも期間限定で販売します。

■ 美術館概要

◆会場: 東京国立近代美術館(東京都千代田区北の丸公園 3-1)

東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口) 徒歩 3 分

◆休館日: 月曜日(ただし春まつり期間中の 3 月 30 日は開館)

◆開館時間: 10:00–17:00 金曜・土曜は 20:00 まで (いずれも入館は閉館 30 分前まで)

◆お問い合わせ: 03-5777-8600(ハローダイヤル) <https://www.momat.go.jp>(ホームページ)

報道関係のお問い合わせ先

広報室 三輪、紀太(きだ)、藤田 TEL: 03-3214-2597 FAX: 03-3214-2577 e-mail: pr@momat.go.jp